

物流供給制約が深刻化するなかで、物流をどのように持続させていくのか、物流の持続可能性についての議論が、近年、盛んになされています。『物流問題研究73号(2022年秋)』は、「持続可能な物流を考える」を特集テーマといたしました。座談会では、企業の方をお招きし、荷主企業、物流事業者、物流コンサルティングのそれぞれのお立場から、持続可能な物流に向けての現在の取り組み状況、実現する上で発生している問題、そして、今後どのように推進していくべきかということでお話ししていただきました。各企業は、様々な取り組みをしている一方で、非常に苦勞をしているということを再認識する内容となっています。

特集論文では、11本の論文を掲載いたしました。広範な視点から持続可能な物流について、議論をしていただきました。

また、2022年3月に開催しました「東京2020大会のロジスティクスとレガシー」の基調講演とシンポジウムの内容を掲載しました。東京2020大会でのロジスティクス対応がどのように行われたのか、そしてレガシーということでは何が残ったのか、今後残すべきなのか、東京2020大会のロジスティクスとレガシーの総括ということで議論しました。

『物流問題研究』においては、新しいテーマに取り組み、今後も積極的に社会に発信していきたいと考えております。特集論文、一般論文について、奮って投稿していただきますようよろしくお願いいたします。

『物流問題研究』の内容はホームページ

(<https://www.rku.ac.jp/about/data/organizations/laboratory/>)にも掲載されています。



QRコードからの閲覧

2022年11月 洪 京和

本誌に関する問い合わせ先
logistics@rku.ac.jp

本号は、文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成」の一環として発行しています。